



どんぐりいろいろ。

外は秋たけなわ。でも、雑木林の動植物たちはそろそろ冬仕度を始めるところです。  
クヌギやコナラ、カンなどの木にたくさん実ったどんぐりたちは、ノネズミや鳥たちの大切な食料に、また雑木林を保つていくための種子として大事な役目を果たします。  
子どもの頃、帽子をかぶったような可愛いどんぐりを拾った記憶は誰にもあるはず。秋晴れの気持ちの良い日、散歩がてらどんぐりに会いに出かけませんか。

コナラのどんぐり

相模原市内で見られるどんぐり

どんぐりを実らせる樹木には、**照葉樹**(一年中葉が緑の木)と**落葉樹**(秋の終わりに葉が黄色くなって落ちる木)があります。相模原の特徴的な緑である段丘崖の斜面林のように、あまり人の手が入っていない樹林は、照葉樹がうっそうと茂ります。それに対して、むかし、炭の原料や薪をとったり、堆肥をつくるために落ち葉をかき集めた雑木林と呼ばれる樹林は、コナラやクヌギといった落葉樹が中心です。雑木林は、伐採や落ち葉かきなどの手入れをしないと、しだいに暗いところでもよく育つ照葉樹が優勢になっていきます。

私たちの社会が、エネルギー資源を石油に切り替えてもう半世紀近くがたちます。今は緑地として保全され、そのおもかげを残している市内の雑木林も、その役目を終えて明るい落葉樹林から、しだいに昼なお暗い照葉樹林へと変化しつつあります。身近な緑の移りかわりを、どんぐりとおして見つめてみましょう。

海沿いや高い山など、ちがう地域に行くと、ほかにたくさんの種類のどんぐりがあるよ。



細ながいどんぐり

丸いどんぐり

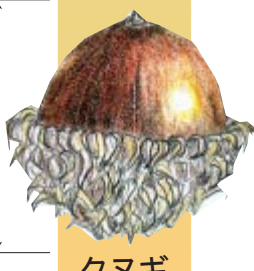


かくとはかま(殻斗)

うろこ状のはかま

しましまのはかま

もじゃもじゃのはかま

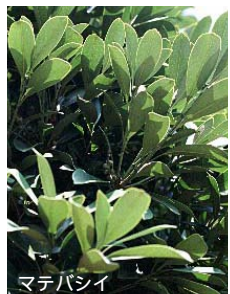


**マテバシイ**  
もともと相模原にはない木ですが、公園によく植えられています。

**コナラ**  
雑木林を代表する木です!日当たりのよいところが好き。

**カシのなかま**  
よくしげって暗い林をつくります。日かげでもよく育ちます。

**クヌギ**  
コナラとともに雑木林をつくる木。「どんぐりまなこ」はクヌギのどんぐりに由来したことです。



一年中緑の葉です。(照葉樹)

秋から冬に葉は黄色くなって落ちます。(落葉樹)

一年中緑の葉をつけています。このほかにたくさんの種類があります。(照葉樹)

どんぐりは丸いけど、葉は細長いです。(落葉樹)

文とイラスト 相模原市立博物館 学芸員 秋山幸也

# さがみはらグリーン

Vol.17

平成12年10月1日発行  
編集・発行者 / 財団法人相模原市みどりの協会  
発行所 / 〒228-0828 相模原市麻溝台2317番地の1 市立相模原麻溝公園内  
財団法人相模原市みどりの協会 ☎042-777-2860  
ホームページURL: http://www.sagami.ne.jp/green/

財団法人相模原市みどりの協会機関紙

AUTUMN FAIR 2000

## オータムフェア

秋の公園も  
楽しさいっぱい!

今年も爽やかな秋空のもと、2日間にわたって相模原麻溝公園「オータムフェア」が開催されます。楽しいイベントが盛りだくさん。ご家族お揃いで、ぜひお出掛けください。

10/8 sun・9 mon (体育の日)

相模原麻溝公園

- オータムコンサート** 9日(月)ふれあいドーム  
相模原音楽家連盟による木管五重奏の演奏  
1回目...午後1時30分~2時 2回目...午後2時30分~3時
- 竹トンボ講習会・竹馬試乗会** 8日(日)・9日(月)みどりの広場  
山口幸恭氏、岡本孝喜氏、相模原造園協同組合の協力による竹トンボ作りと竹馬試乗会 午前10時~午後3時30分
- 花の種無料配布** 8日(日)・9日(月)センター広場  
金魚草、スイートピー等の秋蒔きの花の種を無料配布します。  
各日先着3,000名に配布 午前11時~午後2時~
- 花、植木、野菜の展示・即売** 8日(日)・9日(月)センター広場  
相模原市緑化木生産組合、相模原造園協同組合、相模原市農協麻溝支店による花、植木、野菜の展示・即売で通常の価格より廉価で提供します。午前10時~午後3時30分
- 秋の公園スケッチ会・展示会** 8日(日)スケッチ会場・相模原麻溝公園内  
子供の部(小学生以下100名)と一般の部(中学生以上50名)に  
分け、秋の公園内のスケッチ会を行います。  
午前9時30分~ 雨天の場合は中止 当日は9時30分までにセンター広場で申し込みを行ってください。子供の部参加者には、クレヨンと画用紙を贈呈します。一般の部参加者は各自画材を持参のこと。事前に募集した「はがき絵」の展示も行います。
- 模擬店** 8日(日)・9日(月)水の広場  
相模原造園協同組合による焼きそば、ポップコーンなどの販売。午前10時~午後3時30分
- 陶器、木工製品等の展示・即売** 8日(日)・9日(月)水の広場  
相模原市障害者地域作業所等連絡協議会が市内各所の地域作業所で作っている各種製品を展示・即売します。午前10時~午後3時30分
- 園芸豆図鑑「梅」の無料配布** 8日(日)・9日(月)管理事務所ホール(財)相模原市みどりの協会が今年度の園芸豆図鑑として作成した小冊子を無料配布します。各日先着1,000名に配布 午前10時~
- 南京玉すだれの上演** 8日(日)センター広場  
芝辻しげを氏(日本演芸家連合所属)による古代・江戸時代・近代の三大「玉すだれ」芸を上演 午前10時30分~11時・午前11時30分~12時 小雨中止
- フラメンコの上演** 8日(日)センター広場  
ルナル・デ・ニーニャによるフラメンコの上演 午後1時30分~2時・午後2時30分~3時 雨天中止
- 秋の動物フェスティバル** 8日(日)ふれあい動物広場  
ポニーの無料乗馬、人形劇、モルモットルーレット、てい鉄投げ、動物ペンダントなど。(参加無料) 午前9時30分~午後3時30分

**お願い** フェア中は会場周辺が非常に混み合うことが予想されます。ご来場の際はバスなど公共交通機関をご利用ください。  
JR相模原駅から相武台前駅行きバス「総合体育館前」下車  
小田急相模大野駅から女子美術大学行きバス「総合体育館前」下車



## 家の庭と同じように地域 の公園もきれいにしたい

富士見三丁目花を植える会代表  
佐藤圭子さん

市内富士見の静かな住宅街にある相生公園。そこに花を植え、手入れを続けているのがこの公園の近くに住む「富士見三丁目花を植える会」のメンバーです。

相生公園には木陰を作る木もあり、ベンチも置かれ、人々の憩いの場として親しまれています。そして周囲の花壇にはこの時期、ブルーサルビアや日々草、メランポジウムなど、会のメンバーが育てた色とりどりの花がきれいに咲き揃っています。

「花の好きな人たちがたまたま近所にいたからできること」と淡淡と話す代表の佐藤圭子さんに、会が作られたきっかけや、世話をする上での苦労や喜び、緑への思いなどを語ってもらいました。



富士見三丁目花を植える会のみなさん

後列左から、板井透茂子さん、都築宏子さん、尾万真知子さん、佐藤圭子さん、片山悦子さん  
前列左から、荒川きよさん、岩崎慶子さん、梅田美八子さん、加藤十三子さん

### 花の好きな仲間が意気投合して

2年半ほど前になりますが相生公園が再整備されたことが会を作ったきっかけです。新しい遊具も置かれ、とてもきれいになって喜んでいました。ただ、公園のまわりが緑石で囲まれ、花壇だらうと思っていたのが、いつか花が植えられないし雑草も伸び放題でした。市へ問い合わせたので、それなら自分たちで植えようということに。市へは地区の自治会長から連絡を入れればよいということでした。

以前から子どもを通じて親しくなっていた近所の仲間がいたんです。みんなそれぞれに花が好きで苗や種を交換したりしていました。その仲間に声をかけたら、みな話のついでに……。実はその前から公園の片隅に花壇を作っている年配の女性がいたんです。手入れをしたり、ごみを拾ったりしてその方のことはみんな気になっていました。だから花壇のことに話を持ちかけた時、私たちもやるぞ、ということでは話はずっとまどまりました。自分の家の庭はきれいにするのに数十メートル先の地域の公園のことはどうでもいいとは思いたくありません。

### 手入れは出来る時に出来る人が

最初はそれぞれの家庭から苗を持ち寄り植えました。その後市の広報紙でみどりの協会が花の苗や球根などを無料で配付してくれるというのを知り、さっそくお願いに行きました。今は年に2〜3回配付してもらっています。私たちの会には会費も会費もなく、水やりの当番もないんです。苗を植える時には全員が揃いますが、肥料代などもその時に集めたりしています。みんな大げさなことは考えていません。水やりも出来る人が出来る時にやればよい。朝行ける人、夕方行ける人と、だいたいは会の中でわかっています。でも本当のところ水や



りが番大変ですね。公園の水道が花壇から遠いので水を運ぶのが重労働なんです。そのほかの手入れとしては、ごみ拾いや草むしりをしたり、花に積もった落ち葉を手で拾ったりなどですが、それもみな自発的にやっています。

時には公園で遊ぶ子どもたちが水運びを手伝ってくれたりすることもあります。「この種、ここにまいてもいい？」と持ってきたり、いろいろ花のことを聞いてきたりする子どももいます。花に関心のある子どもいるんだなと、うれしくなります。

大勢の子ども遊び場になっている公園ですから、時には花壇にボールが入ったり、誤って花を踏んだりということもあります。柵をしようかと会で話しましたが、つますいたりすると危ないしまあいいかと。みんなが利用する公園ですからね。花が中心なわけじゃない。

中には、花が見られるから、リハビリのために公園まで歩いてくる」といってお年寄りもいます。花を見てきれいだなあと思ったり、気持ちや和んでくれたりすればうれしいことです。花を持つて行かれたりしたことは一度もないんです。みんなが大事に思ってくれているんですよ。

### 始めてみるのが活動の第一歩

ただ花が好きなのでだけの会で、特別な活動をしているわけではないので、入会は大歓迎です。いずれは引き継いでくれる人たちがいればと願っていますが、時間にも気持ちにも余裕が持てるような年齢になってからでもいいんです。私たちがこつこつでしたから。

緑の大切さも歳を重ねてわかってきたのかも、しれません。花の成長を見るのも楽しみですが、木もいものだなぁと思うようになり、大きな木を見上げると、広い空まで見える、ゆつたりとした時の流れを感じて癒されるんです。人間にとって緑は必要なものだと、つくづく思うようになりました。

もし身近にある公園に緑や花があるといないかと思った時には、小さなことから始めてみてはいかがでしょうか。



### \* 生垣設置助成事業

「生垣」で環境に優しく潤いのある街づくり  
新しく「生垣」をつくる場合、助成をします。

生垣が作り出す緑の壁は、ブロック塀にはない、潤いある緑豊かな空間を作るだけでなく、地震や火災などの災害時には延焼防止の役割も果たします。  
(財)相模原市みどりの協会は、新規に生垣を設置される方に奨励金を交付しています。この機会に自宅の塀やフェンスを生垣にしてみませんか。  
交付の条件

対象	植基	奨励金額	手続き
市内の戸建て住宅(店舗併用住宅も可)、共同住宅の用地内に新たに生垣を設置すること。 その土地が幅4メートル以上の公道に接していること。 生垣の長さが3メートル以上であること。	樹木の種類は生垣に適したもので、原則としてみどりの協会が推奨するものとします。また、樹木の高さは90センチ以上で、本数は1メートルあたり3本以上です。	1メートルあたり5000円で、10万円を限度額とします。奨励金を受けるには事前に申請をし、交付決定を受けなければなりません。	みどりの協会、市役所みどり対策課などに置いてある申請書に記入して、みどりの協会へ、案内書も同所にあります。 ご注意

新たに生垣を作る人が対象で作り替えは対象となりません。奨励金を受けるには事前に申請をし、交付決定を受けなければなりません。  
生垣設置後は良好に管理しましょう。

### \* 花のまちづくり運動



財団法人相模原市みどりの協会では、自治会、老人クラブ、子ども会、幼稚園、保育園などの団体・グループが、地域の公園、自治会集会所周辺、緑道などに植える場合に限り、球根や花の苗などを配付し、花のまちづくりを進めています。みなさんの手で身近な花やみどりをもっと増やしてみませんか。詳しくはみどりの協会までお問い合わせください。

### 園芸ひとくちメモ 水やり

今回は、植物を育てるときに、施肥などとともにもっとも基本的な「水やり」についてお話しします。一般的な注意事項は、土の表面が乾いたとき、夏は朝夕の涼しいとき、冬は午前中の暖かいとき、株もとに、やるときは、鉢底から出るくらいたっぷりと、ただし、土がいつも湿っているようでは、根腐れが心配になるので気をつけます。何れにしても「水やり三年」ともいいい、奥が深いものです。また、植物の種類や場所などによっても異なるので、ひとことではいえませんが、この「水やり」を通して植物の「声」を聞きながら、じっくりつきあうことが一番大切かもしれません。